

図書館だより



古典を楽しむ

「古典」というと国語の教科書で勉強する固いイメージがあるかもしれませんが、実は恋愛やミステリーの要素が満載です。今みなさんが読書を楽しんでいるように、当時の人々もこれらを読むことを楽しみ、中でも選り抜きの「ベストセラー」となったものが今も残っていると考えると、少し身近に感じられそうです。

おちくぼものがたり

『落窪物語 しあわせになったお姫さまほか』

三越左千夫編/太田大八画/小峰書店 918お

この物語は平安時代頃に書かれた、日本版「シンデレラストーリー」です。その時代の日本にこのようなストーリーが存在していたのですね。書かれた時代以外、著者の名前や性別などは不明です。人間味あふれる登場人物たちの物語を追いながら、どんな人物が書いたのか想像するのも面白いかもしれません。



『源氏物語 解剖図鑑』

佐藤晃子/文 伊藤ハムスター/イラスト エクスナレッジ 913お

物語の全体像だけではなく当時の皇族や貴族の暮らし、風習、文化、信仰などについてはもちろんのこと、実社会と比較しつつ歴史まで学べるようになっています。昔の時代のあれこれ、知りたくありませんか？

こちらもおすすめ



『それいけ！平安部』

宮島未奈/著
小学館
913み

『もしも紫式部が大企業のOLだったなら』

井上ミノル/著
創元社
910い

『源氏物語 紫の結び』

一・二・三巻
萩原規子/訳
理論社
913お

分類のはなし

400~499

4 自然科学

科学 数学
宇宙 生物

4類は科学・数学・化学・物理学・天文学・地学・医学と「学」の字がつく分野の本が多く分類されています。堅いイメージがあるかもしれませんが、実際に4類の棚を見てみると、草花や動物、空といった私たちにとても身近なテーマが多いことに気づくと思います。普段目にしているものを「もう少し知りたいな」と思ったら、ぜひ4類の棚へ。



お知らせ

ダブルポイントキャンペーン



今月は秋の読書月間

本を借りるとポイントがダブルで付きます。雨の日はさらにプラス1ポイント。ポイントが貯まるとこの時期だけのプレゼントがもらえます♪

開館カレンダー ★開館日

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 休	4 ★	5 ★	6 ★	7 ★	8	9
10 ★	11 ★	12 ★	13 閉	14 ★	15	16
17 ★	18 ★	19 ★	20 ★	21 ★	22	23
24 休	25 ★	26 ★	27 ★	28 ★	29	30

Picture Books Festival



11月中旬から外国語絵本の展示

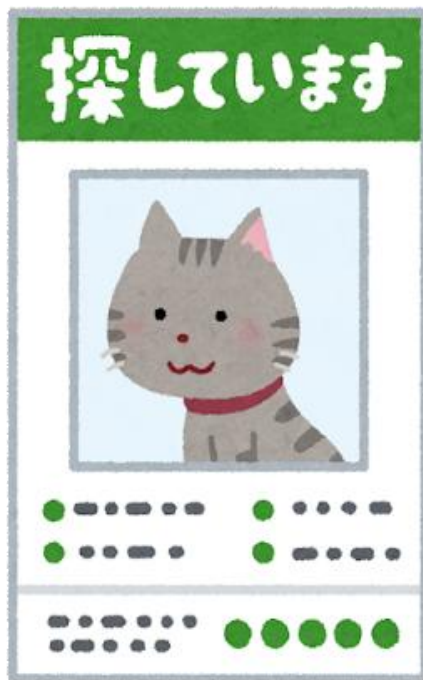
原書が英語（外国語）で邦訳版の本や、原書が日本語で外国語に翻訳されている絵本を多数展示します。



スタディルームで勉強ができます。
(～16:45まで)

13日(木)は司書が研修で不在のため、閉館になります。





- ①『いい人すぎるよ図鑑』明円卓ほか、PHP 研究所
- ②『さみしい夜のページをめくれ』古賀史健、ポプラ社
- ③『古典情景ことば選び辞典』Gakken
- ④『傷だらけの僕らは、それでもいつか光を見つける』
汐見夏衛、スターツ出版
- ⑤『君はきっとまだ知らない』汐見夏衛、スターツ出版
- ⑥『響け! ユーフォニアム | 巻』武田綾乃、宝島社
- ⑦『あなたが誰かを殺した』東野圭吾、講談社
- ⑧『夏への扉』ロバート A.ハインライン、福島正実訳、早川書房
- ⑨『ふたつの月の物語』富安陽子、講談社



★貸出の際にシステムによみこめていなかったかもしれません。人気の本ばかりですので、お手もとにありましたら、図書館カウンターか、ブックポストにいらしてください。